

令和7年度第1回印西市史編さん委員会議事録（要旨）

- 1 開催日時 令和7年8月28日（木）午前10時00分～午前11時30分
- 2 開催場所 中央公民館 3階学級講座室
- 3 出席者 榎委員長、木村委員、大友委員、伊藤委員、高花委員、石井委員
- 4 欠席者 なし
- 5 事務局 飯島文化振興課長、五十嵐木下交流の杜歴史資料センター所長、大関主任学芸員、
武田学芸員
- 6 傍聴者 0人（定員5名）
- 7 議題 （1）令和7年度市史編さん事業について
（2）印西市史刊行計画の変更について
（3）その他

委員長あいさつ

議事録署名委員の選出 木村委員を選出

議事録は、要点筆記で作成し、校正の際には、発言内容に齟齬がないように署名委員に確認をお願いします。

議事（榎委員長が議長として議事進行）

議題（1）令和7年度市史編さん事業について

議長：議題（1）令和7年度市史編さん事業について、事務局より説明をお願いします。

事務局：それでは、議題（1）令和7年度市史編さん事業について説明をさせていただきます。
まず市史編さん委員会の会議を今年度は2回見込んでございます。第1回目は、今日この場で行われている会議です。第2回につきましては、年明けの3月頃を予定しております。

次に事業です。まず刊行事業ということで、市史編さん専門委員会編集会議を2回見込んでおります。第1回目につきましては、参加者の関係もございまして、書面開催という形をとらせていただきました。

続きまして、近世部会の会議です。年4回の計画で進めてまいろうかと思っております。こちらは調査員を含めまして11名が発令されております。令和7年度6月1日付で、新たに調査員が追加されまして委嘱をしました。令和7年度計画としましては、

担当割に基づき、調査、筆耕史料の選出及び筆耕を進めていくようになっております。会議につきましては、去る6月22日の中央公民館で行われました。議題としましては、令和7年度の活動計画及び専門委員における分割等について協議してまいりました。刊行の体裁、刊行計画に係る分担割、筆耕資料の選出方法、令和7年度の活動計画の共有、通史編構成案の議論等を行いました。また、近世部会に関しましては、4月に前倒しで1回打ち合わせを行い、年間の計画の会議の日程を決める動きになり、6月に行われたものが1回目、この後、9月、11月、2月に会議の予定をしております。委員についても調査を行っており、内容としまして既に行っているものは、古文書の調査、あとは市内所在調査等を行っております。文書筆耕につきましては、引き続き行っており現時点で122件筆耕済となっております。

続きまして中世部会です。会議は年4回を予定しております。こちらは5名の調査委員の方が発令されております。令和7年度計画としては、各担当区分に基づいて調査、資料の原稿執筆を行っております。会議につきましては、去る7月19日に、木下交流の杜歴史資料センター（以下当センター）で行われました。事例としては、資料編のレイアウトについて、また令和7年度の活動計画についても協議を行いました。議題の中では、各調査員の調査の進捗状況の情報共有を行いました。第1回目の会議の午後には調査員の1名の方とご協力いただきまして、竜腹寺にございます石塔調査の調査を行っております。我々の方もそのサポートで参加しました。その他につきましては、石塔と位牌の調査等も進めております。また、中世水域復元図の修正作業も実施されております。また、城郭トレース委託ということで、こちらにも実施ということになっております。

次に民俗部会です。現状では1回という形になっておりますが、すでに委員長の方にご協力をお願いしており、8名の方に声を上げていただいております。今後10月頃に委嘱を行い、会議も行う予定です。内容としては、印西市内の巡見を予定しております。

次に市史刊行について、令和8年度に印西の歴史第16号の刊行ということで、これまでの仕様A5判縦書9ポイントで120ページと同じ形で進めることを予定しております。その他としては、広報いんざい5月1日号、市ホームページ、X、LINEでも投稿原稿募集を行っております。収録内容は、現状で令和7年度市史編さん講演会講演録と、その他2点が調整中という形で進んでおります。

続きまして、その他でございます。

歴史資料の収集及び整理・保管事業につきましては、資料の整理保管を随時行ってございます。また、古文書、新聞資料、地域資料等こちらも収集しており、地域資料の収集に関しましては、大森図書館、小林図書館の協力等で行っております。

次に資料の整理でございますが、対象資料としては、保管未整理文書がございますので、こちらを随時進めていきます。整理内容としましては、仮整理済文書の仮史料目録電算化、中性紙封筒への入れ替え、未整理文書の目録作成、宝田家資料目録作成、表題確認・修正その他を会計年度任用職員の皆様のご協力を得まして進めております。

次に資料の保存でございますが、令和6年度、令和7年度に受け入れた資料につきまして、来年の2月から資料の燻蒸を行い、保存の状態を確保していきたいと思っております。

続きまして、歴史公文書の引き継ぎ収集及び整理・保管についてです。収集選別は、すでに5月、6月中に行っております。市役所の文書担当がございまして、そちらが全部署の配置文書を統括しており、当センターで約1か月をかけて収集を行っております。今年度におきましては、文書保存箱23箱、収集をいたしました。

その他の収集に関しましては、随時図書館等から打診があった場合、現物を見た上で判断し収集を行っております。また今年度の6月以降は、整理という形で引継ぎ資料と目録作成、行政資料目録の作成を進めております。また、購入図書資料の受入・整理・台帳作成を順次進めております。

次に、普及活動事業でございます。展示事業としまして、常設展示を行っております。

8月17日地点では、1249名の来所者に足を運んでいただきました。展示説明につきましては、希望団体の申し込みがあった場合、職員が説明を行っております。

市史講座等の開催について、市史編さん講演会の開催に向けて進めております。また古文書入門講座がございます。現在調整中ということで、新たなテーマで市民の皆様にご提供していければと思っております。

次に保管資料の活用について、こちらは随時行い、資料の閲覧、掲載、貸し出し等を行っております。

次に、市史情報の提供でございます。地域の歴史や資料に関する問い合わせは、職員で対応しております。

また、市内近在の方に配布される『広報いんざい』に「ふるさと探訪 タイムスリップ・いんざい」の連載について、当センターと印旛歴史民俗資料館で執筆をしております。印西市の様々な歴史に関わる事柄を紹介しています。『広報いんざい』の今後につきましては今年の10月1日号からは月に1回1日刊行します。大幅な紙面改正が行われるのですが、連載は引き続き3か月に1回掲載をいたします。

最後にその他でございます。関係団体の参加ということで、千葉県史料保存活用連絡協議会に理事として参加しております。駆け足になりましたが、説明につきましては以上でございます。

議長：ただいまご説明いただきましたことについて、質問・意見などありますか。

委員：公文書の引き継ぎについて、保管場所がないと聞いていますが、どんな状況になっていますか。

事務局：当センターの保管に関しまして、現状でかなり手狭になってきております。公文書につきましては、印旛地区の旧宗像小学校に保存スペースを確保し対応をしています。

委員：中世部会について、城郭のトレース委託があるようですが、何箇所くらいの場所が該当するでしょうか。

事務局：現時点では、20箇所程度の城郭のトレースを委託し、「印西市史 中世資料編」に掲載する流れになっております。

委員：古文書等の収集整理保存について、他の自治体等で言いますと、古文書の所在が確認されていても、それから数十年経つと家の建て替えや代替わり等により、30パーセントぐらいの文書が、所在不明になっているという報告が広く知られるような状況ですが、印西市は大丈夫なのか不安になりました。過去に確認されているものも現在どういう状態に置かれているのか、間違いなく残っているのか等の所在調査は実施されているか、その点について考えておくといいと思います。

事務局：過去に行われました悉皆調査のお宅何軒かからは、家屋や蔵を解体する際にお声がけをいただき、当センターと印旛歴史民俗資料館の職員と合同で見に行き、確認を行っております。追加募集については、現在は受動的なところがありますが、近世部会、中世部会等との動きとも連動して、そういった調査にもつなげていくように進めていければとは思っております。

委員：市側が、その地域にとって重要なものだということを伝え続けないと、どうも消えていくのが全国的な状況のように思われます。もし可能であれば、市内をいくつかブロックに分け、順番にブロックごとに確認を行っていく方法は結構あちこちでとられている方法で、実際に古文書が消失してしまった報告がたくさん上がってきてしまうという現状です。人手もかかり、また近世部会などの活動が本格化しているようなので、特定の資料だけ出すだけではなくて全体を見せてください等といった、他の活動とも関連させながら戦略的に行うといいと思います。

事務局：古文書だけでなく他の資料の収集につきまして、市側から資料は大切な資料であるということを認識してもらえるような、何かアクションができないか検討します。

委員：民俗部会も動きますので、民俗活動も聞き取りと残されている文書で、質の高い民俗文化を調査して継承していけるといいと思います。古文書だけではなく、他の分野に関連付けながら集められるといいと思います。

事務局：ありがとうございます。

議長：「今、お宅にあの古文書はありませんか」といった情報もぜひ収集いただきたいと思います。また確認時に「当時の農作などのお話ができる方がいらっしゃるようでしたら」等とお声がけいただき、お互い情報を収集できるといいと思います。

委員：その他の燻蒸について、最近燻蒸の実施が難しいとも聞いているのですが、今年度は通常通り実施できるのでしょうか。

事務局：現在、業者との調整段階ではございますが通常通り行う予定です。今年の3月で薬剤のエキヒュームがおそらく廃止になっていると思うのですが、当センターでは毎年アルプを使っておりますので、引き続き継続し運用を進めてまいります。

委員：市史刊行物の収録内容について、講演会録、他2件調整中ということですが、少ないと思います。もう1回、広報いんざいで募集するのがいいのではないかと思います。

事務局：この点数につきましては、確かに少ないと思います。現時点で確実的なものを掲載させていただいていますが、内部で調整し他のものも確定になりましたら、改めて委員の皆様にご報告させていただきます。

委員：改めて募集はしないのでしょうか。

事務局：募集につきましては、最速で広報に掲載したとして11月になってしまいます。そうすると年内で公募、筆耕までの準備期間を鑑みると不親切になってしまいますので、次年度以降募集できるよう考えたいと思います。

委員：10月11、12日に木下でお祭りがありまして、民俗部会の委員の方にぜひご覧になっていただければと思います。

事務局：竹袋稻荷神社のお祭りのことですね。委員の方には情報発信としてお伝えして、個人単位で見学等はできると思います。また今年度行われた市内の民俗行事は、全て記録撮影しておりますので、撮った映像を委員の皆さんにも今後ご覧いただく等の処置もできるかと思います。この辺りは今後話ししてまいります。

委員：記録撮影は、お祭りの準備段階から記録していただきたいです。

委員：先程資料の所在確認が重要というお話をさせていただきましたが、資料の歴史資料の収集及び整理・保管事業の箇所に「資料の所在確認」を項目として設定していただくことは可能かご検討いただく必要があると思います。

事務局：所在確認につきましては、今後どんな方法で行っていくのか、例えば広報に「探しています」と掲載する等、アンテナを広げる手法を職員内で検討できればと思っています。

委員：新たに古文書を発見するよりも、過去にすでに確認されているものが確実に残っているかどうかという観点に重点を置いた所在確認が必要です。既に何々家文書として、確認されているもの、家庭でお持ちのもので、それなりに確実に伝わってきたものに重点を置いていただきたいです。その中で新しいものが見つかることもあるかと思い

ます。

事務局：ありがとうございます。

委 員：一例として、返信用封筒を同封の上、「お宅にはこういった古文書がありますが、それが現存しますか」と聞き、返信していただくのはどうでしょうか。

事務局：その各家庭に向けて保存について注意点を発信する等、古文書は貴重な意味合いを持っていることについて、各家庭で散逸を防げるようなアナウンスができるといいと思いました。

委 員：ホームページに掲載する等、様々な周知方法があると思いますので、ご検討いただければと思います。

事務局：そのようなことをできるかどうか職員内で話し合ってみます。

議 長：古写真等も一緒に、各家庭に残っているものがないかと広報に載せていただけるといいと思います。

事務局：承知しました。

委 員：その他の歴史資料の収集の項目に、仮資料を目録電算化と記載があるのですが、今後ホームページ等で目録の公開は考えてはいないでしょうか。

事務局：歴史資料によっては、個人情報が入っているものがあります。閲覧する前にそれを精査し、文書の所有者にも許可をいただいてから閲覧となるので、目録全てを精査しないと、安易に公開はできかねます。時代が近い文書の中には、ご存命の方もいらっしゃると思いますので、そのような方々への配慮に伴い、どんな形で解決していくか考えなければいけないと判断をしております。

委 員：解決には時間はかかると思うのですが、公開も少しでもできると、文書が活用されると思います。寄託資料ですと、所蔵者さんに必ず了解を得ると思うのですが、所蔵者の方も文書が丁寧に保存されていることや、文書が重要であることへの理解につながるのではないかと考えております。

事務局：貴重なご意見として受け止め、我々も考えて参りたいと思います。

議 長：編集会議が書面開催になった経緯と今後の予定について教えてください。

事務局：編集会議では、中世、近世、原始古代の3つの部門の状況を報告し合う形式で会議を進める予定でございました。初め、対面開催として取り組みましたが、1部門につきましては、進展が大きくないこと、もう1部門は代表の方が体調を崩されたことで、出席できるのが残り1部門のみとなりましたので、書面開催をさせていただきました。次回につきましては、代理の方を立てられないか等、調査等を行った上で、対面開催が実施できればとは思っております。時期につきましては、今後の進展に合わせて、開催できればと思っております。

議 長：次回開催される際は、民俗部会も立ち上がってると思いますので、民俗部会も呼んでいただけますでしょうか。

事務局：はい。よろしくお願いします。

事務局：印西市は全体的には人口増加している中で、地域によって高齢化したり、人口減少している地域があったり、そういう昔からあるところには、地域の歴史があつて、変遷があつて、それを示すものは文化財であります。そこには地域の営みがあつたり、お祭りがあつたり、行事があつたりするわけですが、今年度無形民俗文化財の獅子舞と神楽に担い手不足で公開ができないものがあります。4月に行われていた本榊の中根の獅子舞と9月の和泉のいなざきの獅子舞の舞い手がいない状況です。お祭りは継続しているところもありますが、地域の人不足により、他地区から参加され続けているところもあります。先日、イオンの建物の中でお祭りがありましたが、それはかつてニュータウンで行われていた、町内会のお祭りがなくなり、その代わりとして開催されました。

今悩んでいるところは、文化財はそのまま残していく必要性もあると思うのですが、ものによってはその形態を変えることや、何か違う形で残していくような、外の地域から人を募集することを検討しておりますが、印西市の場合、近世以降の古文書や民俗行事等、そういったものは今、なくなりつつあるものなので、それを防ぐような形で、皆さんのアドバイスをいただきながら進んでいきたいと思っています。そのままの形で残しておくべきなのか、時代に合わせて形を変えていくべきなのか。

議長：私個人としては、おっしゃる通りそのまま残すのは無理で、時代に合わせた形で伝えていくことはいいと思います。でも記録だけは残す。

委員：今のお話、大変興味深く思いました。過去のものだけでなく、現在の近いところの文化的な意義や価値等、後世に伝えなければならないものが現在の中にあるのではないかということが込められた発言ではないかと思います。その中で取り上げられた、ニュータウン中央の北側の祭りがなくなってしまった話ですが、団地の北側の自治会と南側の方とも関連して、一時は原山とか花火も打ち上げられ、非常に地域コミュニティを広く結合する形で自主的に開催していたものでした。当初は自分たちの地域のため、子供たちのためにという思いをこめて行っていたのですが、自分たちの地域ではもう子供は全部大きくなり、参加しているのが全然運営に関わってない他の周辺地域の人たちという、開催側の趣旨と参加者のズレが起こった等、様々な現象が見られました。でも長い間行われたので、そこで楽しんだ人たちや、活動した人たちにとっては、かけがえのないものがあつたのではないかと思います。今は個別に分かれて存続するようですが、そういった過去の記録は、きっと自治会や実行委員会には残っているはずです。写真もきっとたくさんあると思います。そういうところと相談していくことも、必要だと思います。ただ古いものとは異なり、まだ情報がいろんな形でたくさん残っている。緊急性という問題ではまだ大丈夫だと。一方過去のものに対しては情報量が極めて限られてきます。だから古いものから消えていく危機が非常に高く、優先しなくてはならない。でも、現在のものでも重要なものについては目配りをしておくという取り組みをなさっていただきたいです。

事務局：貴重なご意見ありがとうございます。文化振興課というのは、文化財の保存活用の芸術文化の進歩で、過去の文化財を守りつつ、継承しつつ、この先の未来の活動を行っていくことが必要だと思います。その時に、なぜ文化財を保存したり、活用したりすることが必要かと考えた時、過去に学んで、それを将来に活かしていくということもあるし、過去のものを見ると、人の感情は何か生まれものがあるという気がしています。

議長：そう考えていただけて、大変嬉しいです。

議長：それでは 議題（１）令和７年度市史編さん事業についてはご了承いただくことでよろしいでしょうか。

【うなずきあり】

議長：ありがとうございます。議題（１）令和７年度市史編さん事業については了承されました。

議題（２）印西市史刊行計画の変更について

議長：それでは、議題の（２）印西市史刊行計画の変更について、事務局より説明をお願いします。

事務局：では、ご説明をさせていただきます。印西市史編さん事業基本方針の資料をご覧いただければと思います。こちらの印西市史編さん事業基本方針は、前回令和６年度第２回市史編さん会議で、修正変更をご承認いただいたところでございますが、この度、刊行計画につきまして、変更案を提示するものでございます。現行では中世の資料編が、令和８年度の刊行になっております。今回の修正案ですが、掲載予定の金石文の調査に遅れが生じており、先ごろ行われました令和７年７月１９日に開催いたしました中世部会におきまして、令和９年度の刊行に修正する旨が示されたものでございます。中世部会の案を受けまして、第１回編集会議につきましても、こちらではいたしかたないと、ご賛同をいただいているところでございますので、今回提示をさせていただきました。来年の刊行というのは、良い刊行物を出すためには厳しいと考えておりますので、こちらの令和８年から９年の変更ということでご審議いただけたらと思っております。説明は以上になります。

議長：ただいまご説明いただきましたことについて、質問・意見などありますか。

委員：令和９年の刊行ということですが、刊行時期が中世と近世一緒になってしまうことは

大丈夫でしょうか。

事務局：職員は、週2で旧印旛村のお墓等をまわり、その金石文の資料の現地調査を行っております。こちらかなり数もありますが、十分な調査を行い、執筆者の方に確実な資料として提供した上で、少しでも良いものを作りたいという方針を取ればと思っております。

あくまで計画は現状からの目測という形での定義になっております。今後また修正となる可能性は否めないところがございますので、今後も資料の収集を十分に行っていければと思っております。

この中世編、近世編の刊行にあたりまして、中世部会近世部会の会議や調査等、委員の皆様のお力をいただきながら、この刊行計画の実現に向けて、目標に向けて取り組んでまいります。

こちらの計画に関して、編集会議で先生方にもご意見交換をさせていただきまして、賛同をいただいております。その上で、皆さんにお諮りいただきたく思います。

委員：中世部会は当初、予定通り令和8年度刊行の形で進める予定でしたが、去年一年間ほとんど調査が行われませんでした。資料の所在先について情報をもらえなかった状況がありまして、その状況の中で、中世の重要な資料として、板碑については、現状で十分に確認しておくということが1つの柱であります。印西市史については、新たに中世関係の古文書が出てくることはないと思います。既存の様々な場所で既に発表されたり、使われたりしている資料が中心となります。その中で特色を出し、刊行する意味は何かというと、それは板碑を現状で確認できるところは確認し記録していくこと。それから城郭についても現状で確認できるところをきちんと記録していくということ。そしてもう1つは、印西市の水域は、中世にはどのようなであったのかということを確認しておくこと、この3本柱というような形で打ち出してきましたが、調査がなかなか進まないというような状況でありました。そういった中で大車輪にしていけないと考えておりましたが、会議で、事務局の方からしっかりしたものを作っていくためには、1年間延ばすのもいかがですかという話を伺い、そうしていただけると助かります。本編については、今もご心配いただきましたように、他の部会や近世部会との絡みもあり、中世部会の中でも資料編の刊行と、本編の刊行とが重なることになりますので、これについても非常に厳しい。両方同時に並行して行うのは難しいので、将来的には、またご検討いただくという場面が出てくとも一応想定はしております。

委員：原始古代については、まだ部会もまだ立ち上がっていないのですが、おそらく同じように部会を立ち上げ、部会で検討し、そこで修正案が出たら、市史編さん委員会にかけて事務局で方針を修正する流れでいいでしょうか。

事務局：はい。

議長：それでは議題（２）印西市史刊行計画の変更についてはご了承いただくことでよろしいでしょうか。

【うなずきあり】

議長：ありがとうございます。議題（２）印西市史刊行計画の変更については了承されました。

議題（３）その他

議長： それでは、議題の（３）その他について、何かある方はいらっしゃいますか。

委員：先程文化財の保存のお話についてありましたが、文化振興課と歴史資料センターは同じ部署の本庁と出先機関のような体制だと思いますが、住民から相談があった時の役割や連絡体制があれば教えていただけますか。

事務局：今年度新しく立ち上がりました文化振興課では、指定の民俗行事とあとは埋蔵文化財関係を担当しております。古文書や行政文書等は、当センターで担当し、印旛歴史民俗資料館では、民具等を主に担当しております。また資料館は、旧印旛村ということもあり、印旛村関係の資料は濃厚に対応してもらっている状況です。
ご質問や相談された場合、どちらの窓口にいても、中で判断しておりますので、ただ一つの部署に相談したとしても内部で情報共有は行い、現状を踏まえながら進めております。

議長：手賀沼排水機場内の資料館にもとても良い資料があります。その資料がなくなってしまおうとお話を聞きまして、印西市の資料館等が新たにできるようになれば、合わせて継承していければと思います。

事務局：はい。昨年度は千葉県立中央博物館の先生に来ていただいて、当センターと生涯学習課で、資料を拝見させていただきました。その後は、県と文化振興課の文化財係で調整ということになっておりますので、今後進展があればお話いたします。

議長：他に何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。

【うなずきあり】

議長：それでは、すべての議案審議が終了しましたので、ここで議長の任を解かせていただきます。

以上をもちまして、令和７年度第１回市史編さん委員会を閉会いたします。委員の皆様におきましては、審議をいただきありがとうございました。

事務局：今後とも、いろいろとアドバイス等をいただきまして、事業にご協力いただきたいと思います。それでは閉会とさせていただきます。本日はありがとうございました。

令和7年度第1回市史編さん委員会の議事録は事実と相違いないので、これを承認する。

令和7年9月20日

印西市史編さん委員会
議事録署名委員 木村 修